

<p>第226回 都市懇サロン レポート</p>	<p align="center"><b>「都市の本当の魅力の測り方」</b>  — LIFULL HOME' S 総研が2015年に発表した調査研究レポート『Sensuous City [官能都市]』から、官能で都市の魅力を測るまったく新しい都市評価指標を共有し、これからの都市のあり方について考えてみたい —</p>		
<p>講 師</p>	<p>株式会社LIFULL LIFULL HOME' S総研  所長 島原 万丈 さん</p>	<p>開 催 日</p>	<p>平成30年11月13日(火)  18:00~20:00</p>
<p>講 師 プロフィール</p>	<p>1989年株式会社リクルート入社。グループ内外のクライアントのマーケティングリサーチおよびマーケティング戦略策定に携わる  2005年よりリクルート住宅総研へ移り、ユーザー目線での住宅市場の調査研究と提言活動に従事  2013年3月リクルートを退社、同年7月株式会社LIFULL(旧株式会社ネクスト)でLIFULL HOME' S 総研所長に就任  2015年『Sensuous City [官能都市]』、2017年『寛容社会 多文化共生のための〈住〉ができること』、2018年『住宅幸福論 Episode1 住まいの幸福を疑え』を発表。  主な著書に『本当に住んで幸せな街 全国官能都市ランキング』(光文社新書)。</p> 		
<p>お話の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>調査の動機：都市の本当の魅力を可視化するあたらしい物差しが必要</li> <li>都市の魅力評価する新しい物差し  関係性：共同体に帰属、匿名性、ロマンス、機会がある  身体性：食文化が豊か、街を感じる、自然を感じる、歩ける</li> <li>センシュアス・シティ・ランキング 1位：文京区、2位：大阪市北区、3位：武蔵野市</li> <li>センシュアス・シティとは？  ●住みやすいー多様な人が住みやすい。住人の満足度、幸福度が高い。定着意向が高い。  ●まちの中で豊かなアクティビティがみられるー出合いや交流があり、1人でいても楽しめる。食べて、歩いて、まちを感じる。  ●まちの特徴(名詞、形容詞)ー混在：用途が混在、古い建物と新しい建物が混在  多様性：チェーン店から個人店まで多様に富む商業  カルチャー：文化的アメニティが多い コンパクト：職住が近接</li> </ol>		
<p>意見交換の概要</p>	<p>Q:自治体ベースの集計意図は？  A:都市をつくっている自治体関係者に反応してほしかったこともある。</p> <p>Q:高齢化社会のなか指標はかわってくるのでは？  A:高齢化や自動運転化などによってかわるかもしれないが、高齢者でも魅力評価はかわらないと思う。</p> <p>Q:都市間競争のなか、都市の個性・魅力をどうつくっていくのか？  A:都市には住んでいる人も気づかない魅力の資源(自然・歴史・文化・人など)が多くあるので、それを発掘、伸ばしていくことが大事では。</p> <p>Q:シティ・ランキングと不動産市場・価値との連動はあるか？  A:都市によっては一致しているが、一概にはいえない。</p> <p>Q:島原さんが住みたい都市は？  A:まちが好きになる心構えがあれば、どこに住んでもまちを楽しめる。</p>		
<p>記録者のひとこと</p>	<p>改めてどこも同じ駅前再開発の姿、都市づくり=人間のまちづくりはアクティビティがまずあること。都市の測り方は量や市場性だけでない生活者の視点が重要であること。この指標をもとにいかにか空間、建築につなげていくかが課題であると感じた。官能な時間ありがとうございました。《都市懇サロン運営部会委員 菊地建生》</p>		